

◀コンディションのいい魚体 ▲水深は40メートル前後

▲600~800グラム  
級がアベレージ



▲仕掛けはハリス4号  
10メートルが基準  
◀タナ取りは海面から

▲大きなウスバイギも回っている

▲船宿の前が乗船場

▲午前船のスタート直後に1枚

# 駿河湾沼津 久料港出船

日本一の山を望む  
最高のロケーションで  
糸を垂らしてリフレッシュ

# 富士山を間近に仰ぎ

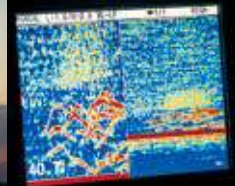
# マダイ釣りを じっくり楽しむ

駿河湾沼津エリアのマダイが秋の好期を迎えている。当地はどちらかというと爆発力よりも安定感がウリで、雪化粧した富士山を間近に仰ぎつつ、のんびりじっくり釣りを楽しむのに最適なシチュエーション。加えて沼津久料地区は、ほとんどのエリアが中止になる強風の日でも、たいていは出船できる恵まれた地形を擁する。

魚磯丸を取材した10月下旬は関東で北寄りの強風が吹いたが、当地はナギ快晴の釣り日和。小々中型のマダイやイナダ、カンパチなどの青物が飽きない程度にアタリを送ってくれた。同宿は定休日とはとくになく午前・午後の2便制だから、朝早いのが苦手な人は午後船を利用するなどニーズに合わせて釣行できるのもうれしい。(詳細は56ページ参照)



▲早朝とタマヅメがチャンスタイム



▲魚探の画面にマダイとおぼしき反応がビッシリ



▲青物が食ったら強気で巻き上げオマツリ防止

▲この時期のイナダは脂乗り乗り

▶軟調竿を絞り込む引きを満喫  
▼まあまあサイズの1キロオーバー



◎イナダが入れ食いになる一幕も

◎駿河湾沼津久料港  
魚磯丸・松崎 英信船長

撮影◎訓覇 啓雄